

Securities News Digest

この Securities News Digest は、ニューヨーク事務所が、米国等における最近の証券関係の興味深いニュースを紹介したものである。

(一九九五年九月六日号)

議会関係

ルービン財務長官、第一回の「金融サービス諮問委員会」を開催。これからの主な議題は、(1)国際金融市場におけるシステミックリスク、(2)二四時間取引とコンピュータ取引、(3)将来の取引所の役割、(4)一〇年後以降の金融サービス産業の姿と集中度、(5)電子マネーの将来等と見られる。

クリントン大統領、ハント（アクロンロースクール教授、民主

党）及びジョンソン（証券法分野の弁護士、共和党）の両氏をSEC委員に指名。

SEC関係

サットンSEC主任会計士、FASBの金融派生商品に対する新会計規則制定作業に今年末までに「意義深い進展」が見られなかった場合には、SECが規則制定に向けた行動を取る可能性を示唆。

SEC、NASD会員企業が証券の調査レポートの発行前に当該証券の売買を行うことを禁止するNASDの規則を承認。

SEC、企業に対する規制を軽減することを目的にタスクフォースを作り徹底した調査に着手。

取引所・自主規制機関等関係

NASDAQ市場に係る調査委員会（委員長はルドマン前上院議員）、NASD及びNASDAQ

ニューヨーク事務所通信

の役員構成が業界寄りであり過ぎる等の問題点を指摘する内容の報告書を作成中。NASDAQ市場のディーラーを監督するNASDの能力に関し、予想以上に批判的な内容となる見込み。

銀行監督機関等関係

NY連銀及びISDA等証券業5団体、店頭金融取引に係る行為規範の最終版を発表。

その他

ICI、ミューチュアルファンドのリスク開示方法として3方式を提案。SECは現在、リスク開示方法の改善について、コメントを募集中。

M&Aが再びブームになっているが、八〇年代と比べると証券会社の収益に対する寄与は少ない。友好的な買収が多く、ブリッジローンやジャンクボンドの発行を伴わないことが理由と見られる。

グリニッジ・アソシエイツ社の調べによると、米

国年金基金の海外エクイティ投資額は九四年に前年比三七％増加し、総資産に占める比率は八・三％（九三年、六・四％、総額で二、二〇〇億ドル（九三年、一、六五〇億ドル）となった。同社の推計によると、年金基金の海外エクイティ投資額は九七年には三、六〇〇億ドル、総資産に占める比率は一一・二％に達する見通し。